

令和 8 年熊本地震後の脳神経内科入院患者における 被災状況と脳梗塞患者の深部静脈血栓症に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。
ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡ください。

研究の目的と方法

大規模地震の後には、避難生活や活動量の低下、停電・断水などにより健康へさまざまな影響が生じることがあります。本研究では、令和 8 年熊本地震後に当院脳神経内科へ入院された患者さんの被災状況を調査し、避難の有無や避難環境、活動量の変化、ライフライン障害などの実態を明らかにします。また、脳梗塞を発症した患者さんについては、深部静脈血栓症(DVT)の発生状況を調査し、被災状況や臨床的背景との関連を検討します。これらを通じて、災害時の脳卒中患者さんに対する医療や健康管理の向上に役立てることを目的としています。診療録や検査結果など既存の情報をを用いて解析を行い、この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2026 年 7 月 28 日の地震発生以降から 2027 年 7 月 28 日までに当院脳神経内科へ入院した方

使用する試料・情報

年齢、性別、診断名、被災状況、血液検査結果、下肢静脈超音波検査結果など
使用開始予定日：2026 年 9 月 15 日

研究予定期間

2026 年 9 月 15 日～2030 年 7 月 28 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は適切に管理し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果を学会等で発表する予定ですが、個人が特定されることはありません。

[研究情報管理責任者]脳神経内科 神宮隆臣
[個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 脳神経内科 神宮隆臣
住所:熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話:096-351-8000(代表)